

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第3回武蔵村山市市民協働推進会議
開 催 日 時	平成24年10月3日（水）午後6時30分 ～ 8時45分
開 催 場 所	中部地区会館403集会室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）渡辺龍也、奥原せつ子、伊東理年、比留間英世、高橋茂明、北口良夫、本間由美子、内野正利、下田光男 （事務局）協働推進課長、協働推進課主査、協働推進課主事
報 告 事 項	報告事項 第2回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について
議 題	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について 議題2 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について 朗読集団いるか会の提案書に「提案事業名及び事業概要並びに予算内容等を別紙のとおり修正したい」と記載した書面を付ける。また、第二次審査結果の集計は第4回市民協働推進会議で行う。  議題2 その他 特になし
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  (発信者) □印：座 長 ○印：委 員 ●印：事務局 ◎印：提案団体	報告事項 第2回武蔵村山市市民協働推進会議の会議録について ●第2回武蔵村山市市民協働推進会議の会議結果の報告の前に、本日、傍聴人が4名いますが、武蔵村山市市民協働推進会議の「会議の公開に関する運営要領」の第5条の規定に基づき、会議の開会前に座長の許可を受けておりますので、報告致します。 ●事務局から第2回武蔵村山市市民協働推進会議の会議結果について報告し、会議録については事前に確認してもらった結果、修正等はなかったので、ホームページ等で公開する。  議題1 武蔵村山市協働事業提案制度の提案事業の第二次審査について ●事務局から次第1頁目及び2頁目を基に説明。 □事務局の説明に対し、各委員意見等はあるか。 -意見なし-  団体名：特定非営利活動法人 むさしむらやま子ども劇場 事業名：ちびっ子名人育成プロジェクト  -提案団体による企画発表-  質疑応答 ○事業を実施した学校では事業が終了した後も、継続的にこまとけんだまを使用し活動しているのか。 ◎事業を実施した学校では先生がこまとけんだまを保管しており、生徒が使用したいときに貸出している。事業を実施した後の継続的な活動については、まだ、事業が1年目なので把握していない。 ○今年度、事業を実施した学校の生徒は10月に開催されるデエダラまつりで、こまとけんだまの技を発表する場があるが、来年度以降は各学

校の中でこまやけんだまの大会を実施するなどの発表の場を設けることは考えているのか。

◎これからずっと継続的に学校に関わっていくのは難しいが、この事業が各学校のきっかけになればよい。

○デエダラまつりで発表して終わりではなく、その後も学校や行政と協働して継続的な活動に繋がるように努めた方がよい。

□1年間で事業を全小学校で実施するのであれば、中には継続して活動する学校もあると思うが、1年間で事業を実施する学校を二校に限定するのであれば、その学校で活動が根付いてもらえるようにする必要がある。

◎事業が終わったあとも、各学校で活動が継続的に行われるよう具体的な方法等を考えていきたい。

●以上で特定非営利活動法人 むさしむらやま子ども劇場からの企画発表に係る質疑を終了する。

団体名：いつひよファミリー～With 石田倫依

事業名：子育てサポートプロジェクト

-提案団体による企画発表-

質疑応答

○障害児が事業に参加することは可能なのか。また、可能な場合、重度の障害児は参加可能なのか。

◎障害者施設と連携を図りながら実施していきたいと考えているので可能である。また、障害の重さに関係なく参加できると考えている。

○特別支援学校などの放課後の時間を活用し、通っている子どもたちを対象に、事業を実施することは可能なのか。

◎今すぐに事業を実施するのは難しいが、高齢者から障害児まで幅広い活動を通して、今後実施できればと思う。

○事業スケジュール表に「親子広場・親子サロン」を月4回実施するとあるが、活動場所はどこなのか。

◎現在毎月行っている子育て支援事業「いつひよファミリーの会」は子ども家庭支援センターを中心に活動している。月4回の親子サロンについては学園地区集会所を中心に活動している。また、月4回という活動回数については、地区集会所の利用規則で1団体、ひと月4回までと決まっているので活動回数を増やすことはできない。

○広報活動はどのような事を行っているのか。

◎今までは2カ月に1回、市報に会員募集や事業の掲載をしていたが、今年度に限っては1つの団体につき市報への掲載が年2回と制限が設けられ、広報活動ができないため、口コミに頼っている。

□スケジュール表の活動内容と活動頻度は今までの活動内容と同じか。

◎現在行っている活動に加え、プロのアーティストである石田倫依さんと一緒に幅広い活動を行っていく。また、新規事業として「青空広場」の実施と高齢者施設や障害者施設での事業も実施していきたい。

●以上でいつひよファミリー～With 石田倫依からの企画発表に係る質疑を終了する。

団体名：朗読集団いるか会

事業名：キジムナーのおはなし会

-提案団体による企画発表-

質疑応答

□本日配布された提案書の事業内容の中で「年間9回の講座で1サイクル」と書いてあるが、講座の回数が全部で18回になっているのはなぜか。

◎半年で9回の講座が1サイクルなので、年間という記載は誤りである。

□メンバーというのは子どもたちを意味しているのか。

◎そのとおりである。

□第八小学校の児童による朗読発表会及び講演会での講師は「前原弘道氏」と理解しているが、各学校で講座の講師を行うのは誰なのか。

◎全18回「前原弘道氏」である。

□当初の提案書には全小中学校の14校で事業を実施するとあったが、本日配布された提案書では全小学校の9校になっているのはなぜか。

◎協働相手である教育指導課から中学校は行事が多いので、最初は小学校のみで事業を実施してはどうか、という提案をいただいたので変更した。また、各学校1回ずつ事業を実施していただくだけでは事業が根付いていくのは難しいので、今年度においては第八小学校を中心として事業を実施していきたい。

□毎年、同じ講師を招くのか。

◎その予定である。また、学校の先生にも講座に参加してもらい、いずれは生徒に教えられるようになってもらえればよいと思う。

□今回の提案書の予算では100万円となっているが、平成23年度の活動報告では年間予算が14万円程度のため、100万円の予算を有効活用できるのか。また、継続的に事業ができるのか。先生が生徒に教えられるようになればよいという考えも事業の将来性が見えない。

◎継続して事業を実施していきたい。

○平成23年度の活動と今回提案している活動内容の違いは「前原弘道氏」を講師として招くだけの違いなのか。

◎そのとおりである。

○平成23年度も「前原弘道氏」を招いているようだが、講師として招いたのか。

◎私たちが朗読を教えてもらうために招いた。

○今までも学校の生徒向けに「前原弘道氏」を招いたことがあるのか。

◎招いたことはないので、今回が初めてとなる。

□本日配布された提案書には「朗読集団いるか会」と「教育指導課」の連名となっているが、事前に教育指導課と連携して共同提案として出していると理解してよいのか。

◎そのとおりである。また、全小学校にも話はしている。

○第八小学校を中心として事業を実施していくとなっているが、第八小学校を選んだ理由はなにか。

◎教育指導課から第八小学校には校外から講師を招いて多様なクラブ活動を行う「ふれっちゃんクラブ」というのがあるため、事業が実施しやすいと提案をもらったためである。

○朗読体験教室（仮称）の対象学年はいくつか。

◎各学校の先生と対象学年を調整していく。

○朗読体験教室（仮称）は年1回90分を全小学校で実施するとあるが、90分を2回に分けて45分ずつやるのか。

◎各学校の先生と調整していきたい。

□市と共同提案するケースは今回が初めてで素晴らしいと思うが、当初の提案書の「協働の意義と必要性」の内容を見ると、協働の意義を理解しているとは思えない。協働の意義を改めて考えてもらいたい。

◎そのように努めていく。

○当初の提案書の「協働の意義と必要性」に記載してある市内在住の講師とは「前原弘道氏」のことか。

◎そのとおりである。

○本日配布された提案書の予算書の中の報償費に各学校への講師料が11,500円×2時間なのに対し、第八小学校での講師料は11,500円×1.5時間となっているが違いはなにか。また、発表会及び講演会でも講師料が11,500円×2時間となっているのは、子どもたちの発表会が終わった後に2時間講演会を実施するということなのか。

◎各学校への講義の時間と第八小学校の講義の時間が違うが、第八小学校は休憩時間を含んでいないので、休憩時間を含むと拘束時間が2時間になり、各学校との時間は同じになる。また、発表会及び講演会での講師料は子どもたちの発表を含む2時間での費用である。

○発表会及び講演会での2時間には子どもたちの講評の時間も含まれているのか。

◎講評の時間はない。

○講師の拘束時間が2時間ということで講師料を計算しているのか。

◎そのとおりである。

○本日配布された提案書の予算の備品費に各学校に配布するDVDに市の補助金を使うのはおかしい。

◎教育指導課と調整して決めたことだが、学校の予算等の仕組みがわからないので、この場で答えることはできない。

○DVDの予算は教育指導課からの提案なのか。

◎そのとおりである。

○事務局に伺いたいですが、当初の提案書と本日配布された提案書が違う内容だが新たに書類審査をしなくてよいのか。

●本来であれば書類選考までに教育指導課と調整を行い、提案書を提出していただきたかったが、調整が予想以上に難航し、書類選考に間に合わなかったことと、事業内容に大幅な変更がないことから、本日の会議で各委員の了承が得られれば、本日配布させていただいた提案書でよいと思う。

□本日配布された提案書に、「提案事業名及び事業概要並びに予算内容等を別紙のとおり修正したい」と記載した書面を付けてもらえればよいと思うが、いかがか。

-異議なし-

◎そのように対応させていただく。

●以上で朗読集団いるか会からの企画発表に係る質疑を終了する。

## 議題2 その他

□本日の評価シートは事務局に提出するのか。

●次回の会議の中で第二次審査の集計作業を行うので、次回の会議までに提出してもらえればよい。

